



あすりー

ながくてごみ減量化通信 + α

アルファ

回覧板

～ 令和6年5月号 ～ 長久手市役所 環境課



長久手市は、市民の皆さまにごみの減量をお願いしています。今月号も引き続き、何故ごみを減らす必要があるのか、どうやって減らすのかについて、皆さまに考えていただきたいと思います。

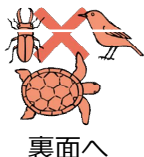
ごみを減らさずに、放っておくと様々な問題が発生します。

埋め立て地・焼却施設の問題



地球温暖化問題

生態系に影響



裏面へ

大量のごみを燃やせば
大量のCO₂が発生します



ごみを焼却するのに多額の税金が使われています



家庭から出るごみ袋の組成調査の結果から言えること

これらは分別して、ごみを減らすことができる資源です。



ブラックー

古着
古布
3%

その他
7%

雑誌
雑がみ
8%

再生不可能な
紙類（ティッシュなど）
12%

その他
もえるごみ
13%

プラスチック製
容器
レジ袋 16%

生ごみ
41%

長久手市
もえるごみ
収集袋

資源を「もえるごみ収集袋」の中に入れないでください。



プラスチック容器包装
ごみ収集袋

ピンク色

これも分別して減らすことができる資源

組成調査とは、市内の家庭から出た「もえるごみ」をサンプルとして職員がごみ袋を開封し、中のごみを改めて分別し、分別項目ごとの比重を調べることです。今回の調査は令和6年1月に実施しました。

地球温暖化による異常気象は「人間の生活」だけでなく「生態系」にも影響しています

連日、ニュースなどで、地球温暖化による異常気象が報道されています。記録的豪雨や洪水、土砂災害、気温上昇などは深刻な問題であり、日本の農林水産業に被害を及ぼすとともに、最近の記録的猛暑は「地球沸騰化」とも言われ、ますます子どもや高齢者の熱中症への警戒が必要になっています。

このような急激な気候変動は、生態系にも影響を及ぼし、自然の動植物の生息環境を変化させ、種の絶滅や個体数の減少を招くこともあります。

私たちの地域には、今は自然の動物（下欄写真参照）が棲んでいます。子どもたちの将来のため、また動植物がこれからも棲み続けられる自然環境の保全のため、私たちは今、何ができるか考え、行動していく必要があります。



令和5年7月2日（長久手市内 撮影）



令和6年1月18日（長久手市内 撮影）

パツカンバー は コラ



提案に感謝、市民の声から長久手を変えよう

〒480-1196 長久手市岩作城の内 60 番地 1

発行元 長久手市役所 くらし文化部 環境課 ごみ減量推進係

TEL 0561 - 56 - 0612 FAX 0561 - 63 - 2100

お待ちし
ていま
す！



「ごみ減量化通信+a」の感想、ご意見など、お便りを募集しています。なお、いただいたお便りは、紙面に掲載させていただく場合がありますことをご了承ください。